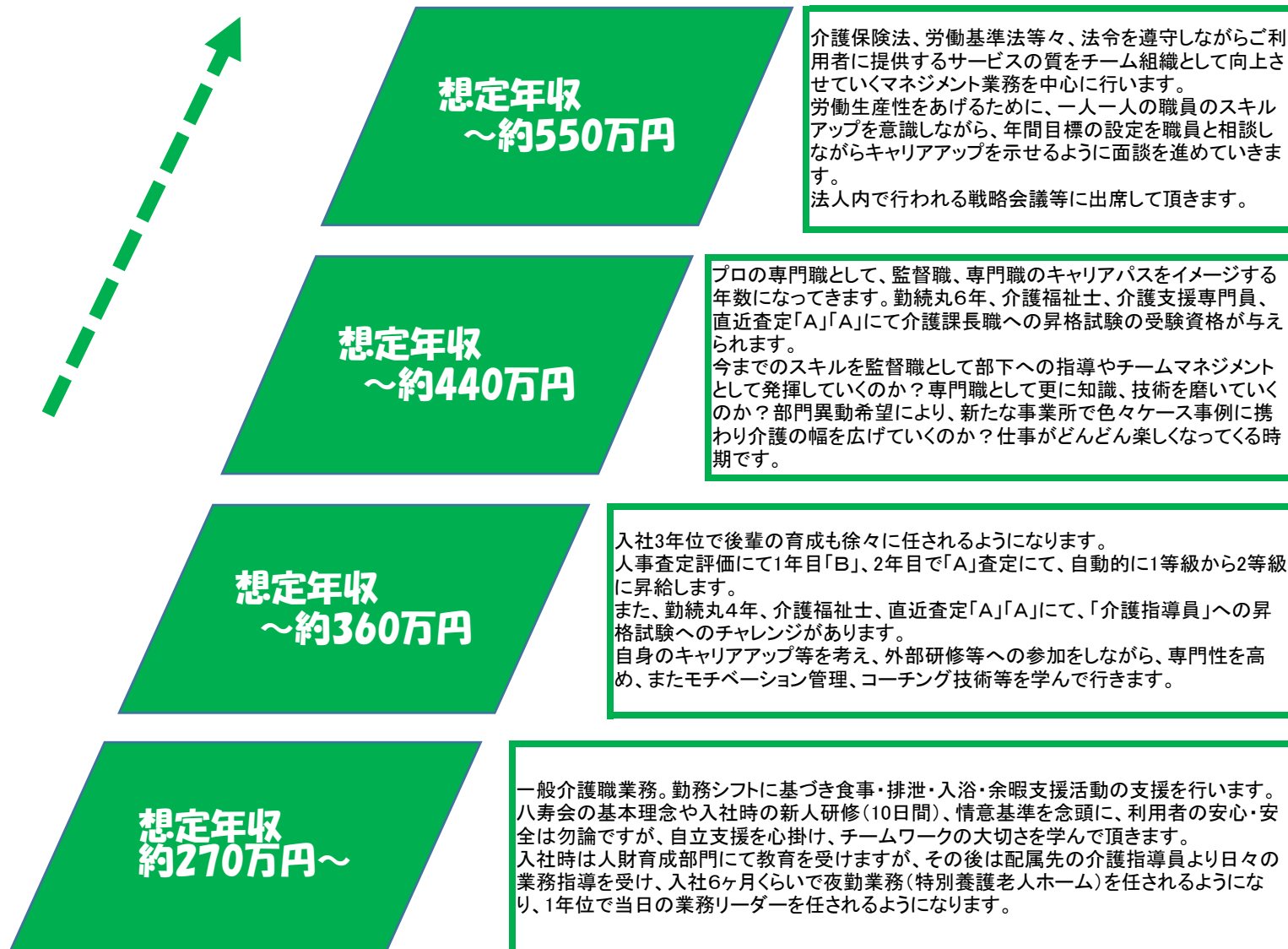


キャリアパスにおける想定年収及び業務内容

部長 次長 サービス事業管理者	入社 11年～
課長 (監督職希望者) 社会福祉士 介護支援専門員 (専門職希望者)	
介護指導員/一般介護職	入社 6年～10年
介護指導員 一般介護職	入社 3年～5年
業務リーダー	入社 1年～2年
一般介護職	



介護保険法、労働基準法等々、法令を遵守しながらご利用者に提供するサービスの質をチーム組織として向上させていくマネジメント業務を中心にを行います。労働生産性をあげるために、一人一人の職員のスキルアップを意識しながら、年間目標の設定を職員と相談しながらキャリアアップを示せるように面談を進めていきます。法人内で行われる戦略会議等に出席して頂きます。

プロの専門職として、監督職、専門職のキャリアパスをイメージする年数になってきます。勤続丸6年、介護福祉士、介護支援専門員、直近査定「A」「A」にて介護課長職への昇格試験の受験資格が与えられます。今までのスキルを監督職として部下への指導やチームマネジメントとして発揮していくのか？専門職として更に知識、技術を磨いていくのか？部門異動希望により、新たな事業所で色々ケース事例に携わり介護の幅を広げていくのか？仕事がどんどん楽しくなってくる時期です。

入社3年位で後輩の育成も徐々に任されるようになります。人事査定評価にて1年目「B」、2年目で「A」査定にて、自動的に1等級から2等級に昇給します。また、勤続丸4年、介護福祉士、直近査定「A」「A」にて、「介護指導員」への昇格試験へのチャレンジがあります。自身のキャリアアップ等を考え、外部研修等への参加をしながら、専門性を高め、またモチベーション管理、コーチング技術等を学んで行きます。

一般介護職業務。勤務シフトに基づき食事・排泄・入浴・余暇支援活動の支援を行います。八寿会の基本理念や入社時の新人研修(10日間)、情意基準を念頭に、利用者の安心・安全は勿論ですが、自立支援を心掛け、チームワークの大切さを学んで頂きます。入社時は人財育成部門にて教育を受けますが、その後は配属先の介護指導員より日々の業務指導を受け、入社6ヶ月くらいで夜勤業務(特別養護老人ホーム)を任されるようになります。1年位で当日の業務リーダーを任されるようになります。

※ 想定年収 には、通勤手当・扶養手当・残業手当等 は含んでおりません。夜勤業務の有無 により、変動 があります。